

岸田日出刀の1964年東京オリンピック大会施設委員長としての 視察時の日記帳に関する概要報告

[資料紹介]

飛田ちづる*

Report of diary by KISIDA Hideto to visit for Tokyo Olympics in 1964 as chairperson of Olympic facility

Tobita Chizuru

This diary was written from 25th August to 19th November in 1960 by KISIDA Hideto. He visited several countries as chairperson of Tokyo Olympic facilities committee. His text is not official but private, therefore it shows directly his sights and ideas for architecture with his era. NAMA has three diaries and this is last one. After all three are published, it may be bespoken a part of his activities.

キーワード：岸田日出刀、東京オリンピック大会、1964年、視察

1. はじめに

本報告は、国立近現代建築資料館収蔵資料である岸田日出刀資料に含まれる岸田日出刀の日記帳の調査報告である。1960(昭和35)年に同氏は東京オリンピック施設特別委員長として欧州と米国に渡航し、その際につづられた。なお、1959(昭和34)年に東京大学を定年退官し、1966(昭和41)に没する間の渡航となる。

日記帳からは、オリンピック施設に加え、パルテノン神殿、各地の都市の様子、ホテルの評価から建築家としての視点のみならず、約60年前の日本人の欧州および米国渡航の様子、現地の状況をうかがい知れる。岸田氏にとって少なくとも生涯3度目の渡航であり、過去の訪問時との比較、戦争による傷跡を記録する一方で、切望した場所に足を踏み入れた感動なども率直に書かれている。

なお、文中の日記帳の翻刻は抜書である。

2. 全体行程と概要

全体の行程は表1のとおりである。1960(昭和35)年8月25日に羽田を出発し、10月19日に同空港に到着、帰国している。旅行会社から渡されたと思われる地図も日記帳に挟み込まれており、これに加え搭乗券の半券、宿泊先の領収書、宿泊予定のホテルの住所、日記帳に記されている都市名、駅や建物の名前から行程表を作成した(表1)。全体を通してみると日付は飛んでいる箇所もあるため、その間の行動や滞在先は推測となるものの、約50日間の旅程でほとんどの期間は日記帳に記されている。

主な内容は、各国のオリンピック施設の現状と建築計画の視点、第二次世界大戦の際に爆撃を受けて変化した町の様子、前回訪れた際の印象と今回の印象の比較、戦後復興、東西ドイツ、米国の印象、建築家としての想い、趣味のゴルフなど業務の他、私的関心も書かれ多岐に亘る。また、業務としての渡航であるため、各地での面会者、日本人との交流も少なくない。国立近現代建築資料館収蔵資料において岸田の設計図面は多くなく、岸田の業績として丹下健三を多数の業務に推薦したとされているが、そうした資料でもない。しかし、公務における日記帳を追うことで、そこに至るまでの経験、思想を見出せると考えられる。なお、本報告は、三冊収蔵されている日記帳のうち最後のものであり、私的な文書としても後期にあたる。

3. オリンピック施設視察

1964(昭和39)年に開催された東京オリンピックのための施設を検討するため各地の施設について述べている。フィンランド、イタリア、ドイツ、スウェーデンなどが挙げられる。施設に加えて周辺環境への配慮、競技によって、日本は新設する必要があるもの、新設の必要はないものが書かれている。

例えば、競艇施設については、日本にはないため新設する必要があると記載されている。

以下、一部を引用する。

八月二十八日(土) [……] 議事堂一九三一年シレーン教授作、モダン風のフィンランド伝統式の議場等

*国立近現代建築資料館研究補佐員、博士(世界遺産学)

せまし、すべてに小規模。オリンピック競技場。塔上に昇っただけ。[……] デザインとしてのスケール小さく強さもあまりなし。住宅街と近いが、街がよくまとまっているから、スポーツ的な雰囲気の醸成にはこと欠かない。これが大切。さて東京は？。

八月三十一日(水) 七時朝食。直ぐタキシーでオリンピック競技場へ。施設そのものは大したことないが、スポーツ的環境の整備は実に申し分なし。東京大会の諸施設もこの点で大いに反省の要あり。

九月一日(木) ○西伯林見物[……] ○国立競技場、オリンピック・スタジアムへ。二十四年前に足しげく通った当時と殆ど変わらない。外部の石がすこし黒くなった位の差か？こゝとローマのオリンピック競技場設備を比較すること、おもしろし。

[九月] 六日(火) [……] ○西停車場前のカフェ(宿のすぐ斜め向い) 短い昼食、タキシーで→競技場、運転手親切、中も見。ソ連とフットボール競技あったとか一面の新□(聞か) 紙。九万五千人収容とか。堂々の競技場、デザインもよく、周囲に十分の空地、緑地、何とも羨まし。北沢氏ウィーンの競技場をとのことだったが正にその通り。

九月七日(水) [……] →ヴェニス寄港、然し空港はヴェニスより離れているらしく一面の平野。○ローマ着(ヴェニスから一時間あまり)。岡部・土肥二君出迎え、まもなく中山夫妻もドイツより飛来、いつしよの車で宿へ。途中、ローマのあれこれ古い建物が車窓から指呼出来。「遂にローマ」への感特に深し、宿、クレ射撃競技場近くのエルミタージュ、村や主競技場にも案外近いところ。○主競技場、マルミ競技場、水泳競技場等一通り見る。

[九月] 八日(木) ○自転車競技場(EUR) オリンピック村、日本選手宿舎、鯉のぼり立つ、ピロティ付二階建デザインは兎に角ピロティ造りはよし、特に日本などには適した形式、下で雨の時など選手達みな仲よくテレビを見雑談、芝生もまあ、従業員の宿舎の大きな棟からちよつと商店街といった形、なかなか、よし。

[九月] 十二日(月) [……] ナボリの港と街は想像以上に大きく立派、サッカー競技場(陸上も勿論可) 十万以上を容れ、迫力あるデザイン。ローマのものより数等上。レストラン・マリノで中食。(魚料理で名あるところとか) 海に近い繁華街。ヨット・ハーバー。前々からあるヨット倶楽部の港を使う。日本では新しく造らねばならず、なかゝ大へん。これも歴史と伝統。[……]

[以下、米国] 十月十五日(土) ○昨夜中、風雨あつたようなれど、上天気すばらし、七時半起床、十時半に空港に出かけるまでちよつと時間あり、林田さんの親切な誘いでオリンピック・スタジアムへ、名刺を出して特別に中に入れて貰らい、写真。(十万人は十分に入りそう。神宮国立競技場はさて如何か。)

4. 米国訪問

10月4日から米国に入り、ニューヨーク、ワシントン、シカゴ、サンフランシスコ、(ロスアンゼルス) を訪問している。東海岸と西海岸にわたり主要都市を訪問したことがわかる。その中に、日本庭園の訪問と違和感、ゴルフ場への関心、超高層ビル(スカイスクレーパー) からの眺望も記載されている。日本で初めて超高層ビルが建設されたのは1968(昭和43) 年の霞が関ビルディングとされており、当時米国を訪れた岸田の目には世界最高峰の高層建築物として威容を誇ったと思われる。

十月七日(金) ○すばらしい上天気。七時に起きて、九時四十五分のマンハッタン巡りにサークル・ライン・サイトシーイングに。定刻乗船(四十三丁目、west end 83)。客も相当。ハドソンをくだり自由の女神像→ダウタウン→摩天楼の壮観→国連本部会館→ぐるつと廻ってハドソンに、ジョージ・ワシントン・メモリアル橋の下を乗船所へ。ニューヨーク全貌をみるとは実によいルート。スカイスクレーパー群のすばらしき!! ○一時半一度宿に帰り、あらためて散歩、エンパイアステート・ビルへ。八十階の展望台で、天気よい故、その壮観たとえようなし。一〇二階まで昇れるが待ち人多く割愛して四十三丁目駅へ、[……]

十月十一日(火) [……] ○新築のブルデンシャル・ビルの屋上へ、50C / 1人、四十階までエレヴェータ、四十一階へエスカレーター、エンパイアステートビルの壮観に比すべくもないが、それでもシカゴの高大さを知るにはよし、歩みかつ休みつゝ、ループを散歩、五時半帰宿[……]

帰国直前にハワイ州のホノルルを訪問して、その様子や住宅地における感想が記され、北米大陸と異なる雰囲気がよく伝わる。

以下、引用する。

十月十八日(火) ○ワイキキ濱へ。ホテルが沢山あり海特にきれい。丁度運よく、フラダンス公演中スナップ数枚、紺碧の海、丁々の椰子樹、□の芝生、その上

でのフラダンス、青い空、これがホントのハワイ。感強し。○ダイヤモンド・ヘッドを廻り、海岸沿いの高級住宅地へ。ホントに極楽らしい感じ。こんなところに住むとノンキになり、ボケになるおそれありか。新しい住宅地に家建ち続く、平屋、日本調!!、日本に建つ家よりずっと落ちついて雅味ある日本調、これ見よがしの新しい日本の住宅建築にないよさあり、これ見よ!!は何でもこまる○ハナウマ湾、ちょっと珍しい入江、これより海岸沿いのすばらしいカラニアオレの駅道→スーアヌ・パリー峠、風の名所、今日は幸か不幸かあまり風なく眺めよし、峠を下りオアフゴルフ倶楽部、会員組織でハウスでの昼食は出来ず、国民墓地に上り、ホノルル、全市を俯瞰、→カピナオリ街のおもしろいレストランで昼食、ビールなか、おい

5. パルテノン神殿など他の建造物

日記帳の記述およびはさまれている資料から、各地で都市内の名所をめぐるっていたことがわかる。City tourと記載されたパンフレットおよび地図は丁寧に貼り付けられ、また町の様子のわかるチラシも残る。

〔九月〕三日（土）〔……〕夜の照明の美しさは東京の方がずっと上、街路照明はなか、よし、特に感心させられるのは夜の街の蛍光灯の色。白熱燈に出来るだけ近い色になってるのは吾が意をえたり。日本の照明家はもつと、夜の光についてよい感覚をもつてほしい。明るいだけが照明の能ではなし。すべてのものを美しく見せるのがホントの夜の照明としてみるべし。

パルテノン神殿訪問時の記述は、切望していたことがよくわかり、一日滞在した翌日も早朝から訪問している。

〔九月〕十五日（木）〔……〕十時タクシーでアロポリスへ。車に乗る前に小供の乞食金をねだってうるさし。こんな光景は東京大阪にはない。よほど貧富の差が甚だしいところらしい。○初めて見るアロポリスの丘の上の壮観、建築家四十年の夢が実現し感激特に大、宿変への為め正午引上げ、新しいプラカ・ホテルで昼食。徒歩でアロポリスへ。午後、日没近くまでアロポリスで過ごす。カラー一本（20）プラスX（白黒）四本（36）周囲は明日のことにする。〔……〕

〔九月〕十六日（金）七時起床、朝食前に徒歩、宿よりアロポリスを一とめぐり、途中（風の塔「リンクテラスの記念碑」）を見る。何れもアロポリスを背景

としてスナップ）。オリンペイオンの大列柱を配してアロポリスをいろゝ。誰のスナップにあるものらしいが、それだけすばらしい眺め。建築家らしい青年一人自分と同じようにスナップして廻っていた。〔……〕アロポリスの東南方に立つちよつとした丘に上り、アロポリス遠景のすばらしい写真、パノラマ等よく撮っていればよいが。物売りうるさし、熊本君の話によるとエハガキ等は宿-街の店-現場物売の順で安価とか、ちよつと逆のようなれど土地の事情に詳しい人の言、そうなのだろう。車でマラトンの古跡へ、紺碧の湖一面のオリーヴ樹。

6. 旅における生活と出来事

6.1. ホテルの評価や買い物など

同伴した勝子夫人がアクセサリーを紛失した際、翌日の室内掃除担当者がアクセサリーを見つけて、寝台脇の台に置いていたことを非常に喜ぶなど、身の回りの印象的な出来事も書かれている。また日本語話者の勤務するホテルが過ごしやすいこと、道を教えてくれた人物、ホテル付近の店の感想、フランスおよび英国で百貨店を訪ねたこともつづられている。

また、土産物についても度々触れている。時計やゴルフクラブ、スカーフなどに加え、特に印象的なものはレヴロンの爪切りである。米国のワシントンで初めて購入し、その後の訪問都市でも購入を試みている。当時の米国では既に一般的だったのか、どこでも買えるといわれている。日本の爪きりの歴史を調べる必要はあるものの、1960年代（昭和30年代）の日本の爪きりより機能的だったと想像する。なお、同じ会社である保証はないがレヴロンという会社は現在も存在し、化粧品関連用具を販売している。

6.2. 国境越え

旧ソ連領であった場所に行き先を間違えた列車に乗ったため足を踏み入れた。

〔九月〕二日（金）今日は全然自由。子供のように近く動物園へ。近くのシュタト・バーンでワンゼーへ。二度遊んだ伯林だが、まだこゝへは一度もいったことなし。ウエストクロイツでちよつとまごつき、更にベルリン・ワンゼーですつと降りればよいものを、ベルリンの前おきが変と思いそのまゝ乗っていったポツダムへと思ったのが誤りのもと、ギーブニツゼー駅でソ連兵から旅券の提示を求められ、査証ないので降ろされ、ホームの汚い小屋へ。パスポー

トも持っていかれどうなることかと心配していたら十分ぐらいであっさりかえしてくれた。職業名明記してあるのでまちがいだったことがすぐわかったのだろう。

イタリアでは悪天候により列車の運行に乱れが生じ、フィレンツェに思いがけず宿泊することとなる。汽車による移動の疲労やたまたま同席した米国人夫妻の親切さ、人ごみに空襲を想起するなど、岸田に残る戦争の記憶も窺い知れる。

〔九月〕十九日（月）〔……〕それからが大変、汽車大混乱、ローマ近くの大雷雨で大出水。線路洗われて不通、応急修理で大遅延の列車客フィレンツェに殺到、○一行ボロニアまで乗換へ、一等車も身動きとれぬ惨めさ、ヒコーキのアメリカの二組の夫婦と同一行動、一人親切に世話してくれる。嬉し。丁度空襲時の列車行を想い出す。身の危険のないのありがたいが、今晚中にヴェニスへ着けるかどうか、又明日飛行機にのれるかどうか、明日中にローマへ帰れるかどうか心配になる。然し気をもんだら切りがないとあきらめれば案外落ち着く。言葉の通じないところでこのような混乱はホントに精神的に参ってしまう。

空港の雰囲気、入国審査、税関については国ごと、空港ごとに書いている。イタリアについてはシーザーの子孫とは思えないお国柄であるとの評であり、英国においては定刻どおりに出発する飛行機、税関の厳しさ、米国においては同じ英語圏であっても雰囲気の違いについて述べている。

6.3. 美術館訪問、食事、面会者など

各地で美術館を訪れ、食事についても記載されている。ただし、食事については食べた場所と料理を記述しているのみで、さほど行数は割かれていない。特に印象的なものについては多少具体的に書かれているが、大抵はホテルの中の食堂や、付近の喫茶店、コーヒーショップと書かれている。会食の場合は値段および会食した人物とともに記載されているが、食事の内容は、主業以外はほぼ触れられていない。日本料理やカレーライスについては、食べることになった経緯から述べているが、やはり記述は少ない。

7. まとめ

全体を通じて施設や歴史的建造物、観光名所、面会

者、町や空港、ホテルの質と雰囲気について記載している。反面、食事や交通手段については仔細に述べていない。渡航の目的は東京オリンピック開催のための施設視察であるから、当然ではあるが、当時日本円と各国の通貨のレートを考えると、食事にどの程度の費用を当てられたのか興味のあるところである。

岸田日出刀資料の中には、本報告で取り上げた日記帳のほかに大正時代の洋行、および1951（昭和26）年ごろの旅行の日記帳が存在するため、これらを調査することで、三冊目の日記帳の位置づけがより明確になると思われる。

謝辞

翻刻にあたっては田良島哲氏の指導を受けたことを記し感謝申し上げます。

（2021年5月11日原稿受理）

表 1 旅程概要

日程	移動手段	発地	着地	泊地	訪問先	食事	備考
8月25日	航空機	東京(羽田) 日本ケラフヴィク(アイスランド) 経由ハンブルグ(ドイツ) 着			エルベ湖畔		
8月26日(金)		ハンブルグ→ロンドン(英国) 経由	ストックホルム(スウェーデン)				
8月27日							記載なし
8月28日(土)		ヘルシンキ	フィンランド	ハンブルグ	フィンランド議事堂、オリンピック競技場(木の板張り住宅街と近い。スポーツ的な雰囲気醸成には大切。)、北部住宅街、アレキサンダー二世、ロシアの像のある寺院	昼 中央停車場二階のレストラン チキンサンド	ホテル前のベンチで町行く人を漠然と眺める。
8月29日							記載なし
8月30日(火)			ストックホルム	ストックホルム	オールド・シティ、議事堂、市街、ジートルング、病院、市庁舎	昼 街の菓子店でホテルのレストラン	
8月31日(水)	航空機	①ヘルシンキ(フィンランド) ②ストックホルム→コペンハーゲン 経由	①ストックホルム ②ハンブルグ	ハンブルグ(ベルリン・ヒルトン)	クルフルステンダム繁華街	朝 タ 近くのレストラン	
9月1日(木)				ハンブルグ	ブランデンブルグ門、巴里広場、ウンター・デン・リンデン街、中央寺院、王宮、マルクス・エンゲルス広場、ソ連無名戦士の墓所 ○西ベルリン見物 国会議事堂、ハンザフィアテル、議会堂、シャールロッテンブルグ宅、国立競技場、オリンピック・スタゲオン、フンクツルム、ドイツチュランド・ハルレ、グリューネワルト、ダーレムの米軍附属諸施設	朝 部屋で朝食 タ キンドル	
9月2日(金)				ハンブルグ	動物園、ワンゼー	朝 ホテルの食堂 タ ホテルの食堂	ソ連占領区へ間違えて行く。
9月3日(土)	航空機			ミュンヘン(ドイツ) ケー・カイザー	ハンブルグ(ティアガルテン、ジートルング、ゲーグスゾイン、ステアガルテン) 移動 南ドイツの村落を見る ミュンヘン(街歩き、街路照明についてのコメント)	朝 ゆっくり食事 ノイエスエーのレストランで喫茶 タ 十五階のレストランで食事	
9月4日(日)		ハンブルグ	ミュンヘン	ミュンヘン	カールス・プラッツ、カロリネ・プラツ、オペリスク、ケーニヒスプラッツ、アルテ・ピナコテーク、独逸博物館		
9月5日(月)		ミュンヘン	ウィーン	ミュンヘン	ブルグガルテン、リングシュトラッセ、国立オペラ劇場、歴史博物館、国会議事堂	タ 近くのレストラン	
9月6日(火)				ミュンヘン	ハプスブルグ王室の地下墓所、シエンブルン宮午後 競技場(95,000人収容、ドナウ川近く)→ボティエ・ヴ・キル	昼 西停車場前のカフェ タ 前のレストラン	
9月7日(水)	航空機	ミュンヘン→ヴェニス 経由	ローマ		クレー射撃場、エルミタージュ、主競技場、マルミ競技場、水泳競技場	朝 近くでコーヒーと菓子、バナナ タ ブドー樹美しい庭で会食	
9月8日(木)					自転車競技場(EUR)、オリンピック村	タ 日本大使館	
9月9日(金)					馬競技場、クロスカントリー、ボートレースコース	タ 天津飯店(支那料理)	
9月10日(土)					パンテオン、聖ピエトロ大寺、コロシェウム、バジリカ・メンサンチオ、凱旋門、フォロ・ロマーノ、カラカラ浴場		
9月11日(日)					芸術展示場、閉会式		「東京大会ではセレモニーの演出に十二分の効果を出すようにするがよし」
9月12日(月)	バス	①ローマ→ナポリ ②ボンベイ→ナポリ	①ボンベイ ②ローマ		移動中 テラッチナナポリ 港、サッカー競技場、ヨットハーバー、ナポリのスラム街 ボンベイ 古跡	昼 レストラン・マリノ(ナポリ)	
9月13日(火)					トレヴィの噴水、エマヌエル二世教会堂、フォロ・ロマーノ	タ ドイツ料理(中山夫妻)	
9月14日(水)	航空機		アテネ	アテネ(ナショナルホテル)		タ 黒田大使からの招待と思われる。	
9月15日(木)				アテネ	アクロポリス	昼 プラカ・ホテル	
9月16日(金)				アテネ	アクロポリス、風の塔	タ 大使邸	
9月17日(土)	航空機	アテネ	ローマ			タ 天津飯店	
9月18日(日)	航空機	ローマ	フィレンツェ	フィレンツェ(ホテル・アストリア)	ドーム、レニョール広場、ボンテ・ヴェッキヨ		ローマ近くの雨と雷で列車の時刻が乱れて遅延
9月19日			ヴェニス	ヴェニス	聖マルコ広場、ヴェニス(ドカレ宮殿、コロネード)		19日と記載はされていないが内容から19日分の行動と判断した。
9月20日(火)	鉄道	ヴェニス	ローマ	ローマ			

日程	移動手段	発地	着地	泊地	訪問先	食事	備考
9月21日(水)	航空機	ローマ	チューリッヒ	チューリッヒ(グランドホテル)		朝 ホテル	
9月22日		チューリッヒ	ジュネーヴ	ジュネーヴ(ホテルアリアナ)			日付の記載がないものの、内容から22日に該当すると思われるものを記載している。
9月23日(金)				ジュネーヴ	国際聯盟会館、ローヌ河	朝 宿で 昼 公園のレストラン(中山夫妻) タ パリジエンヌ	カメオのイアリングが手元台に乗せてあった。
9月24日(土)	航空機	ジュネーヴ	パリ	パリ	マドレーヌ寺院前、オペラ座?	タ 大衆食堂	
9月25日(日)			パリ	パリ	ヴェルサイユ街、シャンゼリゼー、エトアール凱旋門		
9月26日(月)			パリ	パリ	コンコルド廣場、チュイルリー公園、ルーヴル宮、美術館、博物館、ノートルダム寺院	タ ブルニエ(魚料理)	
9月27日(火)			パリ	パリ	ルクサンブル公園、ノートルダム寺院、ホテル・デ・ヴィーユ、オペラ前キャブシーヌ通り、マドレーヌ寺院、Aux Trois Quartiers(デパート)		
9月28日(水)			パリ	パリ	ボン・マルシェ百貨店、マドリラス百貨店ヴェルサイユ	昼 角の店でお茶とサンドイッチ	
9月29日(木)	航空機	パリ	アムステルダム	アムステルダム	ボート見物、アムステルダムの港		
9月30日(金)	航空機	アムステルダム	クロイドン空港(ロンドン)	ロンドン	オリンピック・スタジアム、リクスムゼウム(レンブラントの夜警)	昼 博物館内 タ スキヤキ	
10月1日(土)				ロンドン	バックingham宮殿、キングスロード、リリー・ホワイト、ミュージカル鑑賞、ハー・マヒエスター	昼 カレーライス タ 一等書記官夫妻、明子君	
10月2日(月)				ロンドン	オクスフォード・ストリート、トラファルガル廣場、議事堂、ウエストミンスター橋、アペー、ウィンザー城、城付近のゴルフ、サッカー、フットボールの競技場	タ 日本人宅	
10月3日(月)				ロンドン	セント・ポール寺院、ロンドン塔、タワーブリッジ、タッソー夫人の蠟人形、ハロツドの店	タ 近くのレストラン	
10月4日(火)	航空機	ロンドン	ニューヨーク	ニューヨーク(ビルヂモア・ホテル)	四十三丁目マヂソンAv.		大使館の車で空港へ。
10月5日(水)				ニューヨーク	勸業銀行、ブロードウェー、ギムベル百貨店	タ 日本料理齋藤	
10月6日(木)				ニューヨーク	ニューヨーク タイムス・スクエア		
10月7日(金)				ニューヨーク	ハドソン、自由の女神像、ダウンタウン、摩天楼、国連本部会館、ハドソン、ジョージ・ワシントン・メモリアル橋、エンパイアステートビル、四十三丁目駅	宿の前のレストラン(昼もしくはタ)	レヴロンの爪切り
10月8日(土)		ニューヨーク	ワシントン	ワシントン	アーリントン墓地、リンカーン記念堂		
10月9日(日)				ワシントン	首都、議場、ワシントン記念塔、ボトマツク公園ゴルフ場、ボトマツク河、ジェファーソン記念堂、ジョージワシントン大学、ナショナル・ギャラリー国立美術館	朝 ホテル タ すきやき	
10月10日(月)	航空機	ワシントン	シカゴ	シカゴ			
10月11日(火)				シカゴ	No.2ループ、北部湖畔 ミース・ヴァン・デル・ローエの高層アパートメントハウス、シカゴトリビュン、ブルデンジャル・ビル屋上	朝 ホテル 昼 スナック	
10月12日(水)	航空機	シカゴ	ロスアンゼルス	ロスアンゼルス	バーマー・ハウス、オハラ・フィールド、グランド・キャニオン		
10月13日(木)				ロスアンゼルス	林田さんの勤務するドラッグ・ストア、ディズニースタンド	昼 寿司 タ すきやき	
10月14日(金)				ロスアンゼルス			記載なし
10月15日(土)	航空機	ロスアンゼルス	サンフランシスコ	サンフランシスコ	ロスアンゼルス オリンピック・スタジアム サンフランシスコ ポスト街、ロケット街	タ チャイナ・タウンにて	
10月16日(日)	航空機	サンフランシスコ	ホノルル	ホノルル(アレキサンダーホテル)	サンフランシスコ 市中心近くのラヂオステーションのある山上、ゴルフゲート公園、湖岸、ゴールデンゲート橋	朝 ホテル近くのレストラン	
10月17日(月)				ホノルル	ポスト・オフィス・ビル、生長の家ハワイ支部、キングスst.を宮殿近くまで。アラモノア・センター	朝 ホテルのコーヒョショップ	
10月18日(土)				ホノルル	アラ・モア・センター、ワイキキ演、フラダンス公演、ダイヤモンド・ヘッド、住宅地、ハナウマ湾、カラニアナオレの駅道、スーアヌ・バリー峠、風の名所、オアフゴルフ倶楽部、国民墓地	昼 カピナオリ街のレストラン タ 日本食(ビーコク通りのレストラン)	
10月19日	航空機	ホノルル、バ 経由	東京(羽田)				